

# 萩市耐震化緊急促進アクションプログラム 2022

令和4年4月

## 1. 目的

萩市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、市民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。

このため、萩市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下、「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を把握、評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

## 2. 位置付け

アクションプログラムは、萩市耐震改修促進計画第3章第3節に基づき策定する。

## 3. 取組内容・目標・実績

### (1) 計画

#### ①2022年度取組内容

##### 【財政的支援】

- i 住宅の耐震診断費に対する補助を実施する。
- ii 住宅の耐震改修費に対する補助を実施する。

##### 【普及啓発等】

- i 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進
  - ・市内全域を対象として、毎年度、住宅耐震に関する補助制度の概要を記した案内を納税通知書に同封する。
- ii 改修事業者の技術力向上に係る取組
  - ・山口県等と連携のうえ、改修事業者に対する説明会を年1回実施する。
  - ・山口県等と連携のうえ、「山口県木造住宅耐震診断・改修技術講習会受講修了者名簿」（以下、「受講修了者名簿」という。）を作成し、市役所窓口及びホームページで公表する。
- iii 耐震診断実施者に対する耐震化促進
  - ・耐震診断結果報告時にパンフレット等により、耐震化の重要性と補助制度を周知する。
  - ・耐震診断後概ね1年を経過しても耐震改修を行っていない住宅所有者に対して、年度当初にパンフレットの送付等を行う。
- iv 市民への周知普及
  - ・年1回以上、広報誌等を活用し、耐震化の重要性、補助制度の周知をお

こなう。

- ・防災等のイベント開催時に住宅耐震ブース等を設置し、パンフレット等を設置、配布する。
- ・市役所窓口パンフレット等を設置し配布する。

②2022 年度目標

- i 住宅に対する耐震診断費補助件数：10件
- ii 住宅に対する耐震改修費補助件数：2件

③これまでの実績件数

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
診断	2	0	0	7	5	5	4	4	4	4	10	6	6
改修	0	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0

(2) 自己評価

①前年度の取組実績

- i 市広報誌に補助制度を掲載した。
- ii 空き家セミナーに合わせ、住宅耐震化相談会を開催し、パンフレット等を配布した。
- iii 市内全域に、住宅耐震に関する補助制度の概要を記した案内を納税通知書に同封した。
- iv 耐震診断実施後、耐震改修を行っていない住宅所有者へ耐震改修補助制度の概要を記した案内を送付した。

②前年度の課題及び改善策

- i 今後も事業の推進に向け、引続き補助制度の利用促進を図る必要がある。
- ii アクションプログラムに基づき、耐震化の重要性や補助制度を積極的にPRする。